

国民年金特別会計業務勘定 平成18年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	15	20	5	賞与引当金	2	5	2
有形固定資産	4	4	0	退職給付引当金	55	53	△2
国有財産 (公共用財産除く)	3	4	0	その他	0	0	0
物品	0	0	△0				
その他	10	13	2	負債合計	58	58	0
資産合計	30	38	8	< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	△28	△20	7
				負債及び資産・負債差額合計	30	38	8

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
人件費	42	42	0
退職給付引当金等繰入額	5	7	1
委託費等	102	31	△70
その他	67	76	9
本年度業務費用合計	217	158	△59

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	△32	△28	3
本年度業務費用合計(A)	△217	△158	59
財源(B)	222	165	△56
その他	△1	-	1
本年度末資産・負債差額	△28	△20	7

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	15	20	5
財務収支	-	-	-
本年度収支 (業務収支+財務収支)	15	20	5
資金への繰入等	△13	△16	△3
資金残高等	13	16	3
本年度末現金・預金残高	15	20	5

国民年金特別会計業務勘定の業務等の概要

1. 設置目的、業務内容

この勘定は、基礎年金、拠出制国民年金及び福祉年金事業における業務取扱、福祉事業に係る収支を經理するために設けられたものである

2. 歳入歳出決算概要

歳入額 1,679 億円に対し歳出額 1,473 億円であり差引 205 億円の剰余を生じた

この剰余金のうち、37 億円を 19 年度の歳入に繰入、168 億円を国民年金勘定の積立金に組み入れた

主な科目の内容

1. 貸借対照表

・現金・預金…日本銀行預け金(翌年度歳入繰入による増 37 億円)

2. 業務費用計算書

・委託費等…年金資金運用基金への交付金の減 669 億円

3. 資産・負債差額増減計算書

本年度業務費用合計と財源合計との差額 76 億円